

# 京都府綾部市における廃校を活用した都市農村交流施設の運営

京都府推薦 都市農村交流アドバイザー（分野：観光交流）

朝倉 聡

（特定非営利活動法人里山ねっと・あやべ 理事・事務局長）

## 1 地域の概要

京都府北部に位置する綾部市は人口約3万2千人。かつては養蚕が盛んで、グンゼ株式会社発祥の地であり、米、茶、黒豆や栗などの農産物のほか、黒谷和紙の産地としても知られるが、人口減少が大きな課題となっている。

こうした中、綾部市は、全国に先駆けて「水源の里条例」を制定し、広い市域のうち主として東部の過疎集落を「水源の里」と位置づけるとともに、栃餅に象徴される特産品づくりなど集落ごとの取組に市が補助し、集落に思いを寄せる市内外のボランティアからの支援も得つつ、集落の振興と活性化に取り組んでいる（※詳しくは、全国水源の里連絡協議会が発行する機関誌『水の源』を参照されたい）。

そのほか、農家民宿や移住の推進、廃校活用等に取り組んでおり、市西部の旧・豊里西小学校は「綾部市里山交流研修センター」に、市東部の旧・口上林小学校は展示体験施設「黒谷和紙工芸の里」にそれぞれ生まれ変わった。

このように、綾部市では様々な都市農村交流活動が展開されているが、ここでは主に、綾部市里山交流研修センターとその運営団体である特定非営利活動法人里山ねっと・あやべ（以下、「里山ねっと・あやべ」とする）の取組について紹介する。

## 2 里山ねっと・あやべの設立

「綾部市里山交流研修センター（以下、「センター」とする）」は、市西部のなだらかな田園地帯に位置し、かつては200名以上の生徒数を数えた豊里西小学校が1999年3月に閉校したため、その廃校舎を活用して整備されたものである。

閉校後の施設活用について検討した結果、市では環境や農業が注目を集める時代背景のなかで、田園都市・綾部の魅力発信の場として活用することを決定した。また、市内外から協力者（サポーター）を募り、2000年7月に里山ねっと・あやべを設立し、施設の管理運営を委託する形で、同年9月にセンターをオープンした。なお、里山ねっと・あやべは2006年3月にNPOとして法人化するとともに、同年4月からセンターの指定管理者となった。

## 3 具体的な取組内容

里山ねっと・あやべが取り組む交流事業の3本柱は、「貸館」「宿泊」「交流体験」である。「貸館」では、会議や懇親会、教室開催、BBQといった各種利用に対し、施設の貸出を行っている。「宿泊」では、スポーツ団体や学生の合宿をはじめ、京都府内の大学の研修なども受け入れている。さらに「交流体験」では、里山散策や門松づくり、石窯パンや流し素麺などの野外調理、綾部里山交流大学などを随時実施しており、地域住民を先生役として取り組んでいる。

オープン以降、旧校舎をそのままセンターとして活用してきたが、2006年に校舎の一部を宿泊棟に改修し、宿泊機能を追加。さらに2017年には、京都府の「森の京都」事業の支援を受け、地元木材がふんだんに使われた「森もりホール」を新設し、装い新たに運営を続けている。

#### 4 住民意識の変化と取組の効果

地域住民とともに交流事業を実践する中で、「単に施設に来てもらうだけでなく周辺の里山にも入ってほしい」との声から、住民自らによる峠道の整備につながり、また、全国各地からの来客との交流が地域の誇りとなった。特に若い学生との交流は、高齢化が進む集落の住民にとって、楽しい機会となっている。

さらに、地元自治会とグンゼ株式会社や京都府立林業大学校が連携したモデルフォレスト活動も行なわれており、コウノトリが飛来する周辺地域は、2015年に環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山」に選定された。

こうした交流をきっかけとして、住民意識も変化しつつあり、少子高齢化により継続維持が難しくなっていた地元の村祭りに学生ボランティアが参加してくれるなど、新たな地域の担い手も生まれている。

加えて、センターに隣接していたJAの売店が閉店することとなったが、住民が出資し、自主組合の売店「空山の里」を運営するようになるなど、小学校とJAはなくなったものの、それぞれ住民たちの熱意と創意工夫により、形を変えて継承されている。

#### 5 アドバイザー自身のPR

私は2008年から里山ねっと・あやべの職員となり、2010年から理事、2013年から事務局長の任にあるが、都市農村交流は団体理事や職員、支援者のみならず、広範な地域の協力があって初めて成り立つものと考えている。全国的に小学校の統廃合が相次ぐなか、長年にわたる校舎活用の歴史的経緯やNPOによる施設運営などについて、視察等ではお話ししている。

また、綾部市では、水源の里や農家民宿をはじめ多様な交流主体があり、ご相談いただければ、地域リーダーの役割や集落での合意形成、行政との関わり方など、内容に即して綾部市や京都府北部から最適な人材をご紹介します。



(綾部市里山交流研修センター全景)